

# 光輝く 無限の力が 君にある

光市成人のつどい



1月9日、新市発足後初めての「光市成人のつどい」を、市民ホールで開催しました。今年、昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた639人が対象で、当日は501人が出席。式典のテーマとして「光」を掲げ、オープニングに「光」の名前がつく児童2人が登場し、新成人にお祝いの言葉を述べました。続いて、各中学校の卒業生の中から選ばれた次の6名が、中学校時代の思い出や将来の夢、目標などについて語り、スクリーンに当時の同級生や恩師の懐かしい顔が映し出されると、会場は歓声に包まれました。

また、「新成人は今何を求めているか」をテーマとして行った「市長とのふれあいトーク」では、「光市が好きですか？」の質問に、ほぼ全員が「好き」と答えていました。引き続き行った「ふれあい交歓会」では、久しぶりに再会した友人とおしゃべりに熱中したり、記念写真を撮り合ったりして、みんな楽しいひとときを過ごしていました。



**松廣勝巳さん**（浅江中学校出身）  
今、夢や目標を模索しているところで。中途半端に「夢」を持ちたくはありません。自分のすべてをかけることができる、たった一つの夢。今はそのために、いろいろなことにチャレンジして、いつか必ず夢を見つけないと思っています。

**山根亜弓さん**（大和中学校出身）  
私には、動物とかかわれる仕事につきたいという夢があります。今は、動物とかかわれる仕事ではありませんが、とても充実しています。いつかそういう仕事につくためにも、今の気持ちを忘れずに、現在の仕事を一杯頑張りたいと思っています。

**横原昌弘さん**（島田中学校出身）  
小学校で野球を始め、高校3年の時に念願の春夏甲子園出場。大学でも野球を続け、明治神宮大会で準優勝することができました。辛い時こそ夢に向かって頑張る人は光っています。これから、どんな時でもチャレンジを続けていきたいと思っています。

**田村聡美さん**（光井中学校出身）  
皆さんは、理想のカップルというと、最初に誰を思い浮かべますか？私は祖父母を思い浮かべます。2人はとても温かく、一緒にいると、悩んでいたことも忘れられます。私もいつかこの光市で、二人のようなおじいちゃん、おばあちゃんになりたいと思っています。

**野村 徹さん**（室積中学校出身）  
自然災害は、地球温暖化などの環境問題が原因の一つです。自然を守っていくには、私たちの一人ひとりが環境に目を向け、しっかりとした意識を持つことが大切です。将来、地球の環境問題に関する仕事につけるよう、今はしっかりと勉強をしたいと思っています。

**和田佳奈美さん**（附属光中学校出身）  
中学校の附中祭で、仲間とともに行事を成し遂げた時に経験した初めての感動の涙。そして、さらさら博にダンサーとして参加し、初心者私を仲間が支えてくれて踊り終えた時に流れた涙。そんな感動の涙を、これからもたくさん流していきたいと思っています。

## 20歳の声

会場で新成人6名からコメントをいただきました

田村さやかさん（三井6丁目）



私は溶接の仕事についていますが、仕事を通して多くのことを学んでいます。私は光市が大好きです。市民の皆さんが団結して、これからもっと一体感のあるまちになることを望んでいます。



二十歳になったので、社会人として責任ある行動ができるように努力したいと思っています。新光市では、光と大和の人たちが協力して、温かい市民がたくさんいるようなまちになってほしいと思います。

木田克幸さん（大字浅江）



小さい時から自衛官の父親の姿に憧れていました。将来は航空関係の仕事につきたいと考えていて、今、鹿児島大学の航空士学を勉強しています。二十歳の抱負は、社会に貢献できる大人になることです。



私は今、看護師を目指して勉強しています。将来は患者さんの立場になって物事を考えることができる看護師になりたいと思います。光市には、これまで以上に光輝くまちになってほしいと思います。

桜井裕希さん（上島田2丁目）



二十歳になると、行動に責任が伴ってきます。子どもたちのお手本になれるように努力したいと思っています。光市には自然がたくさんあるので、これからは自然豊かなまちでいてほしいと思います。



金属関係の仕事についていますが、製品が完成した時の喜びなど、仕事はとても充実しています。二十歳という人生の節目に、これからの人生を見つめ直して、しっかりと前に進んでいきたいと思っています。

## 全国家庭教育フォーラム やまぐち大会

～はつらつ子育て つながる笑顔～

家庭教育力の低下や子育ての危機が指摘される中、地域社会全体で子どもや家庭を支える気運を醸成するため、文部科学省が、平成16年度からスタートさせる「全国家庭教育フォーラムやまぐち大会」を、全国3地域の一つとして、開催します。

日時 2月6日10時～16時  
場所 市民ホール・島田公民館・勤労者総合福祉センター  
主催 文部科学省・全国家庭教育フォーラムやまぐち大会実行委員会  
共催 山口県・山口県教育委員会・光市・光市教育委員会

内容  
【分科会】 父親の家庭教育参加 子育てサークル活動・子育て支援活動 地域づくり・地域活動 家庭の役割（10時～11時20分）  
【アトラクション・オープニングセレモニー】（12:20～12時55分）  
【基調講演】



講師/門脇 厚司先生（筑波女子大学学長）  
演題/「生きる力を育てる家庭と地域のはたらき～親と子の社会力～」  
（13時～14時）

【パネルディスカッション】「子育てで 人がつながり ともに育つ」（14時10分～15時50分）

【親子で楽しめる参加・体験コーナー】 パルンアート・本の読み聞かせ・おもちゃの修理・竹笛工作など  
【展示コーナー】 食生活・子育てサークル・子育て支援活動など  
【相談コーナー】 助産師、臨床心理士、労政事務所相談員による相談

入場料 無料（ただし、分科会は事前に申し込みが必要です。）  
問合せ 山口県教育庁社会教育課成人教育班  
083(933)4630  
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/s-kyoiku>